**令和３年度　第２回千葉市地域自立支援協議会運営事務局会議　会議録**

**（書面開催）**

|  |  |
| --- | --- |
| **１　期 間 等** | ・資料配布・意見照会期間  　　令和3年７月１４日（水）～令和3年７月２７日（火）  ・集計日時  　　　令和3年７月３１日（日） |
| **２　方 法** | ・書面決議による代替開催(事務局・緑区障害者基幹相談支援センターで集計) |
|  |  |
| **３　審議事項** | **１．各区地域部会の議事要旨について**  各区６月地域部会議事要旨  資料１-1【中央区】  資料１-2【花見川区】  資料１-3【稲毛区】  資料１-4【若葉区】  資料１-5【緑区】  資料１-6【美浜区】  **２．各区地域部会からの意見**  資料２  **３．その他の意見**  　　　資料3 |
| **４　書面提出の状況 　・**総委員数：２１名  ・書面による意見提出数：２１名 | |
| **５　議事の結果 　　別紙１のとおり** | |

**＜別紙１＞**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **意見有** | | **意見無** | **意見内容** |
| １-1．資料2-1　中央区 ５月地域部会議事要旨 | | ４名 | １７名 | 別紙２のとおり |
| １-2．資料2-2　花見川区　５月地域部会議事要旨 | | ２名 | １９名 | 別紙２のとおり |
| １-3．資料2-3　稲毛区 ５月地域部会議事要旨 | | ３名 | １８名 | 別紙２のとおり |
| １-4．資料2-4　若葉区 ５月地域部会議事要旨 | | ３名 | １８名 | 別紙２のとおり |
| １-5．資料2-5　緑区 ５月地域部会議事要旨 | | １名 | ２０名 | 別紙２のとおり |
| １-6．資料2-6　美浜区 ５月地域部会議事要旨 | | １名 | ２０名 | 別紙２のとおり |
| ２．**各区地域部会への意見等**  資料２ | | ６名 | 15名 | 別紙２のとおり |
| ３．**その他の意見**  　　資料３ | | 2名 |  | 別紙3のとおり |

資料2

各地区部会への意見等

〔中央区地区部会〕

　○専門部会は素晴らしいので可能であれば区横断的に機能が発揮できると良い。

　○行動障害者の住まい先について新進のGHに対応するスキルがあるのか若干の不安を感じている。

　○行動障害を有する方の受け入れに対応出来る施設を一定数確保する必要性があると考える。施設には基準を満たす人員を配置する必要があるため、施設側にインセンティブが働く様な仕組みの構築が出来ると良いと考える。

　○強度行動障害や医療的ケアの支援が必要な人ほど支援がうけられていないというのは多くの相談員が感じているのではないかと思います。一度実態を明らかにして、必要な支援が行き届くためには何をすべきかを明確にした方が良いと感じました。

　○施策の元になる社会資源・要支援者の調査を通して“根拠作りの数字”を表すこと、またそれを基に提案提言して行くことが必要と感じる。

〔花見川地区部会〕

　○日中サービス支援型のGHは区分4以上を原則としている事もあり、高い支援力が求められている。先日、某日中支援型で支援が困難となり「強制退去が決まりました」と夕方16時30分に今から引き取って下さいという連絡が来たことがあった。ご本人にとってはライフラインである家を失う事態をGHの運営者としてどう考えているのか甚だ疑問に感じた。退去の理由は同じようなものであるが、暴言暴力に至った理由が障害特性上のアセスメントから、環境の構造化に配慮がされていた物なのか等の検証が必要と考える。同じような話しが複数あり、日中サービス支援型のFHの入居状況報告書等を協議会でも確認したい。

　○事例研究が主になっているが、せっかく多職種が参加しているのでそれを生かし、他区を参考にもう少し視野を広げ、多角的に会議を運営したい。

〔稲毛区地区部会〕

　○親の障害と育児の課題については非常に大きな問題に思う。令和3年7月12日付けの「障害者総合支援法上の居宅介護等の業務に含まれる「育児支援」の取り扱いについて」の通知等を育児支援側に入る保健師等をはじめとする児童・教育の分野への周知が必要なのではないか。

　○コロナ禍での家族が罹患した場合の拠り所や緊急時の預け先の問題は家族にとっても心配は尽きない。全て充分に満たすことは無理にしても仕組み作り、機能させねばならない。

　○以前取り上げられた事例についての続きの情報が、どうアプローチして来たかも含めて伝えられたのが良かった。簡単には解決出来ないからこそ、基幹で取り上げられるのであれ

ば、こういった形で情報が出てくることは非常に有意義であると考える。半年から1年程度で状況報告や、さらなる事例検討として取り上げられる様になることを他の地域部会にもお願いしたい。

〔若葉地区部会〕

　○この事例のみならず緊急時の受け入れがオールマイティに対応出来るわけではない現状を痛感する。

　○児童の短期入所が少ないのは課題に思う。母親の負担感が強い家の救済策がないままにしておくには危険に思う。

　○福祉サービス事業において、多方面からの参入で活性化される一方、質の他担保が課題。

　　GH等生活面を担う事業所の責任感が問われる。保護者の心配が理解出来、基幹も情報の共有と提供に工夫が必要と感じる。また、緊急時に生活拠点事業の果たす役割と機能を考えたい。

〔緑区地区部会〕

　○地域特性を絡め医療ケア・幼児期の支援について他職種連携の観点から対応事例を挙げていただくとありがたい。

〔美浜区地域部会〕

　○含蓄のある知的障害者相談員の方の子どもへの見方・保護者の分析は地域活動のヒントになると感じた。

資料３

**その他の意見**

○事業所数の整備の状況と実際に利用できる事業所数のミスマッチが生じていることが書面から確認出来る。特に重度の障害者の受け入れ先、中・高生の放課後及び週末の居場所が少ない様に感じるため、次期計画に取り込むなど、対策を講じる必要があると考える。

○書面開催が続いています。書面ですと伝わりきれない部分があると思いますので、オンラインでの開催もご検討をお願いします。